

論考

集団的
自衛権

辻元清美 社民党政審会長代理



——集団的自衛権の行使を認めますか。

社民党は憲法9条を生かそうという立場だが、専守防衛の範囲で自衛隊を認めている。ただ、イラク戦争に出したり、集

団的自衛権の行使を認めたりするのは憲法違反。地獄への道だ。

——安倍首相は集団的自衛権を研究する有識者懇談会を設置しました。

あの偏った「井戸端

会議」ね。例として米

国向けに発射された弾道

ミサイルを迎撃するとい

うが、03年の福田官房長

官談話でミサイル防衛は

行使容認 地獄への道 護憲以前に「尊憲」を

第三国の防衛に用いられることはないとしている。

国際復興支援活動で他国の軍隊が攻撃された時に自衛隊が応戦するというのも、政府は「自衛隊は非戦闘地域にしか行かないから、そういう事態は想定されない」と答弁してきた。国会答弁はうそで、議事録を全部書き換えるというのか。

——首相の強い思いが背景にあるようです。

良質な保守は必要だと思ふ。戦後、日本をあの敗戦からここまでもってきたのは敬意に値する。私はこの良質な保守を受け継いできた自民党の人

たち、戦争体験をしている人たちを尊重しなければいけないと思う。それを戦争を知らない二世、三世のボンボンがつぶしてしまっている。護憲の前に尊憲だ。今の憲法を尊重できない首相に憲法を語る資格はない。

——でも護憲だけで対立軸になりますか。

私は「9条さえ守れば平和が来る」と夢見る乙女ではない。集団的自衛権の行使を認めて米国と一緒にイラクの前線まで行くか、非軍事に徹して国際貢献をするのか。いずれも危険を伴うが、どちらを誇りを持って引き受けられるかの選択だ。

非軍事の9条でもリスクはあると認めたらうで、護憲を訴えたい。

——ただ、少数野党では限界があります。

連立政権の方程式がある。参院選の争点は年金や憲法もあるが最大の争点は「安倍晋三」を信任するかどうかだ。この選挙で与野党逆転して衆院の解散に追い込む。民主党なら「憲法9条は変えない」ということを条件にして、連立を組むことはあり得る。社民党と民主党が連立を組むことで、改憲派もいる民主党の暴走を抑えることができると思う。

(聞き手・山本大輔)